



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月30日 東

上場会社名 株式会社テラプローブ 上場取引所  
 コード番号 6627 URL <http://www.teraprobe.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 雄一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 CFO (氏名) 神戸 一仁 (TEL) 045-476-5711  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	5,752	14.4	697	2,004.4	698	2,372.5	465	—
27年3月期第1四半期	5,028	△1.3	33	—	28	—	△106	—

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 799百万円(5,326.1%) 27年3月期第1四半期 14百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	50.13	—
27年3月期第1四半期	△11.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	35,921	24,210	58.3	2,255.45
27年3月期	35,324	23,591	57.7	2,193.96

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 20,935百万円 27年3月期 20,365百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.0	—	0.0	0.0
28年3月期	—	—	—	—	—

(注) 通期業績予想を作成することが困難であるため、配当予想については開示いたしておりません。

3. 平成28年3月期第2四半期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,450	7.4	1,250	131.1	1,240	120.1	780	—	84.03

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社グループが属する半導体業界は市場環境が短期間に変化するという特徴があり、1年間の業績予想を作成することが困難であります。従いまして、当社グループの連結業績予想につきましては、翌四半期の業績予想のみを開示することといたします。詳細は、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
 (注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無
- (注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年3月期1Q	9,282,500株	27年3月期	9,282,500株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	145株	27年3月期	104株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年3月期1Q	9,282,367株	27年3月期1Q	9,282,417株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
(5) 重要な後発事象	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期における我が国経済は、政策効果などを背景に緩やかな回復基調で推移しました。

海外においては、中国経済の成長鈍化や、欧州での国際金融市場の不安要素はあるものの、先進国を中心に回復が継続しました。

当社グループが属する半導体業界におきましては、引き続きスマートフォン、車載向けなどを中心に需要が堅調に推移しました。

以上のような状況のもと、当社グループの売上高は、メモリ事業・システムLSI事業ともに前四半期に比べ増加し、特にシステムLSI事業のテスト受託においては、過去最高となりました。

その結果、当第1四半期における当社グループの売上高は5,752百万円(前年同期比14.4%増)、営業利益は697百万円(前年同期比2,004.4%増)、経常利益は698百万円(前年同期比2,372.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は465百万円(前年同期は106百万円の損失)となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。なお、セグメント別の業績には連結調整額、為替換算レート調整額及びセグメント別に配分されない費用を含んでおりません。

#### ① メモリ事業

当第1四半期のメモリ事業は、主要顧客の生産調整の影響がなくなるとともに、修繕費の低減もあり、前四半期に比べ売上高、利益ともに増加いたしました。

これらの結果、当第1四半期のメモリ事業の売上高は3,502百万円(前年同期比0.4%減)となり、セグメント利益は886百万円(同46.7%増)となりました。

#### ② システムLSI事業

当第1四半期のシステムLSI事業は、テスト受託は、設備投資に伴う減価償却費の増加があったものの、売上高が過去最高となり、WLP・BUMP受託は、海外からの新規受託もあり売上高は堅調に推移いたしました。

これらの結果、当第1四半期のシステムLSI事業の売上高は2,094百万円(前年同期比41.3%増)となり、セグメント利益は165百万円(前年同期は283百万円の損失)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は35,921百万円となり、前連結会計年度末比597百万円の増加となりました。これは主に、売上高の増加によって受取手形及び売掛金が497百万円増加したことによるものです。

負債は11,711百万円となり、前連結会計年度末比21百万円の減少となりました。これは主に、設備投資資金の調達で長期借入金827百万円、リースでの製造装置の調達に伴いリース債務が178百万円それぞれ増加しましたが、設備購入代金の支払等によりその他流動負債が926百万円減少したことによるものです。

純資産は24,210百万円となり、前連結会計年度末比618百万円の増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益が465百万円、非支配株主持分が39百万円、為替換算調整勘定が104百万円それぞれ増加したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は6,705百万円となり、前連結会計年度末比174百万円の減少となりました。

当第1四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,046百万円の純収入（前年同期比50.8%の収入減）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益717百万円、減価償却費1,341百万円などにより資金が増加したものの、売上債権の増加462百万円、法人税等の支払280百万円及び事業構造改善費用の支払307百万円により資金が減少したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、2,235百万円の純支出（前年同期比35.2%の支出減）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出2,407百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、962百万円の純収入（前年同期比64.7%の支出増）となりました。これは主に、設備投資資金の調達等で借入金が増加して920百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期第2四半期連結累計期間における半導体市場につきましては、自動車やスマートフォンなど一部消費の低迷を背景とした在庫調整などもあり、成長が鈍化するものと予想されます。

このような状況のもと、第2四半期につきましては、メモリ事業、システムLSI事業ともに受託量の減少が見込まれております。また、修繕費や減価償却費、季節要因による用力費などの費用が増加するものと予想しております。

これらの結果、当社グループの第2四半期連結累計期間の業績は、売上高が11,450百万円、営業利益が1,250百万円、経常利益が1,240百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は780百万円と予想しております。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。

当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,980,411	4,206,239
受取手形及び売掛金	4,407,704	4,905,493
有価証券	4,899,601	4,499,609
製品	36,093	26,142
仕掛品	209,823	287,629
原材料及び貯蔵品	135,390	161,259
その他	697,579	868,455
流動資産合計	14,366,604	14,954,830
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,687,131	3,709,262
機械装置及び運搬具(純額)	11,728,421	12,721,584
その他(純額)	4,526,636	3,535,627
有形固定資産合計	19,942,189	19,966,474
無形固定資産		
無形固定資産	424,875	401,780
投資その他の資産		
その他	591,116	598,953
貸倒引当金	△96	△96
投資その他の資産合計	591,019	598,857
固定資産合計	20,958,085	20,967,112
資産合計	35,324,689	35,921,942

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,448,554	1,404,380
短期借入金	1,097,535	1,290,253
リース債務	2,200,501	1,958,278
未払法人税等	225,464	171,848
賞与引当金	510,974	397,714
その他	2,476,170	1,549,871
流動負債合計	7,959,200	6,772,346
固定負債		
長期借入金	2,067,973	2,895,034
リース債務	867,399	1,287,744
退職給付に係る負債	194,042	172,952
その他	644,180	583,711
固定負債合計	3,773,596	4,939,443
負債合計	11,732,796	11,711,789
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,823,312	11,823,312
資本剰余金	11,380,267	11,380,267
利益剰余金	△3,326,324	△2,861,027
自己株式	△84	△128
株主資本合計	19,877,171	20,342,424
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	506,103	610,479
退職給付に係る調整累計額	△18,070	△17,009
その他の包括利益累計額合計	488,032	593,470
新株予約権	-	8,127
非支配株主持分	3,226,688	3,266,130
純資産合計	23,591,892	24,210,152
負債純資産合計	35,324,689	35,921,942

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	5,028,873	5,752,110
売上原価	4,463,033	4,404,284
売上総利益	565,840	1,347,825
販売費及び一般管理費	532,685	650,110
営業利益	33,154	697,715
営業外収益		
受取利息	1,956	2,068
設備賃貸料	14,388	15,919
貸倒引当金戻入額	19,787	-
その他	9,928	18,681
営業外収益合計	46,060	36,670
営業外費用		
支払利息	27,741	25,136
その他	23,239	11,140
営業外費用合計	50,980	36,277
経常利益	28,234	698,107
特別利益		
固定資産売却益	2,368	43,371
特別利益合計	2,368	43,371
特別損失		
固定資産除却損	367	1,901
減損損失	-	22,367
特別損失合計	367	24,269
税金等調整前四半期純利益	30,236	717,209
法人税等	42,614	123,531
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△12,378	593,678
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△106,154	465,296
非支配株主に帰属する四半期純利益	93,776	128,381
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	23,862	204,659
退職給付に係る調整額	3,248	1,061
その他の包括利益合計	27,111	205,721
四半期包括利益	14,732	799,399
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△90,736	570,735
非支配株主に係る四半期包括利益	105,468	228,664

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	30,236	717,209
減価償却費	1,514,264	1,341,172
減損損失	-	22,367
株式報酬費用	-	8,127
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△229,903	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	15,006	△21,089
引当金の増減額(△は減少)	△160,971	△120,383
受取利息	△1,956	△2,068
支払利息	27,741	25,136
設備賃貸料	△14,388	△15,919
固定資産除売却損益(△は益)	△2,001	△41,469
売上債権の増減額(△は増加)	△186,848	△462,751
破産更生債権等の増減額(△は増加)	636,709	-
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,329	△91,378
仕入債務の増減額(△は減少)	△14,593	235,006
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△42,367	△149,180
その他の流動負債の増減額(△は減少)	254,574	189,531
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△59,106	△3,608
その他	21,200	20,766
小計	1,782,266	1,651,468
利息の受取額	1,954	2,472
利息の支払額	△27,741	△25,475
補助金の受取額	409,711	5,215
法人税等の支払額	△38,044	△280,331
事業構造改善費用の支払額	-	△307,149
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,128,146	1,046,198
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,800,000	△2,000,000
定期預金の払戻による収入	150,000	2,000,000
有形固定資産の取得による支出	△1,800,865	△2,407,434
有形固定資産の売却による収入	14,872	167,462
無形固定資産の取得による支出	△28,318	△14,893
設備賃貸料の受取額	11,359	19,103
その他	819	△128
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,452,133	△2,235,889

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	203,766	200,000
短期借入金の返済による支出	△1,137,609	△40,000
長期借入れによる収入	1,816,829	2,876,127
長期借入金の返済による支出	-	△2,115,712
自己株式の取得による支出	-	△43
リース債務の返済による支出	△672,625	△734,278
セール・アンド・リースバック取引による収入	373,950	965,400
非支配株主への配当金の支払額	-	△189,222
財務活動によるキャッシュ・フロー	584,310	962,269
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,380	53,256
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△736,296	△174,164
現金及び現金同等物の期首残高	7,882,336	6,880,013
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,146,040	6,705,849

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	メモリ事業	システム LSI事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,517,731	1,482,134	4,999,866	29,007	5,028,873
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,517,731	1,482,134	4,999,866	29,007	5,028,873
セグメント利益又は損失(△)	604,443	△283,975	320,468	△287,313	33,154

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△287,313千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△318,853千円、連結消去24,821千円、円換算に用いた為替相場の相違による差異調整額6,718千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに属していない一般管理費です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	メモリ事業	システム LSI事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,502,900	2,094,325	5,597,225	154,884	5,752,110
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,502,900	2,094,325	5,597,225	154,884	5,752,110
セグメント利益	886,740	165,200	1,051,940	△354,225	697,715

(注) 1. セグメント利益の調整額△354,225千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△430,291千円、連結消去44,985千円、円換算に用いた為替相場の相違による差異調整額31,080千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに属していない一般管理費です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「メモリ事業」及び「システムLSI事業」において、当初予定していた用途での利用見込みがなくなった固定資産について、処分予定資産として帳簿価額を回収可能額まで減損し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては、「メモリ事業」で9,367千円、「システムLSI事業」で12,999千円であります。

(5) 重要な後発事象

該当事項はありません。